

## 更なる機能強化に係る四者協議会での最終合意について

関係者の皆様へ

昨日、国土交通省・千葉県・周辺9市町・当社の四者で構成される「成田空港に関する四者協議会」において、第3滑走路（C滑走路）の整備、B滑走路の延伸、夜間飛行制限の緩和といった成田空港の更なる機能強化に関する最終的な結論が得られ、年間発着枠を現在の30万回から50万回に拡大するための事業を実施することについて関係者間で合意されました。

更なる機能強化の実現は、我が国の更なる成長、国が進める観光ビジョンの実現、そして地域の今後の発展のために必要不可欠なことであり、最終的な結論が得られたことは、大変大きな一歩であるとともに、成田空港にとって歴史的な1日になったと強く感じております。

更なる機能強化は、我が国そして地域の将来がかかったプロジェクトであり、「国際拠点空港としての役割を果たし、グローバルな航空ネットワークの発展に貢献する、世界トップレベルの空港を目指す」という経営理念を掲げる当社にとっての最重要プロジェクトです。今回、更なる機能強化という新たな空港を建設するに等しい大規模事業に着手させて頂けることとなりました。これもひとえに地域の皆様の声を受け止めながら、「成田空港の国際競争力の確保」と「地域住民の皆様の生活環境の保全」の両立を図ることについてご英断頂いた関係者の皆様のご理解・ご協力あってこそのものであります。

当社と致しましては、引き続き、地域の皆様の機能強化に対する理解を更に深められるよう努めるとともに、「空港づくりは地域づくり」という共生・共栄の理念のもと、空港があつて良かったと地域の皆様から思っていただけのような努力してまいりたい所存であります。

今後は、全社一丸となつて本プロジェクトに取り組み、関係者の皆様のご期待に沿うべく精一杯努力して参りますので、より一層のご指導、ご鞭撻の程、お願い申し上げます。

2018年3月14日  
成田国際空港株式会社  
代表取締役社長 夏目 誠